

II 離床を行うまでの基礎知識

II -13. 肺機能検査

大項目	中項目	小項目	リンク・備考	回答	レベル
□ II-13.1 肺機能検査	□ II-13.1.1 肺機能検査について理解している	□ 肺機能検査でわかることについて説明できる	R-33 マンガ呼		◇
		□ 肺機能検査で使用する機器について説明できる			◇
	□ II-13.1.2 肺機能検査に関するパラメータについて理解している	□ 全肺気量(TLC)の基準値について説明できる	R-33 マンガ呼 検査本 P144-P148		◇
		□ 肺活量(VC)の基準値について説明できる			◇
		□ 最大吸気量(IC)の基準値について説明できる			◇
		□ 機能的残気量(FRC)の基準値について説明ができる			◇
		□ 予備吸気量(IRV)の基準値について説明できる			◇
		□ 予備呼気量(ERV)の基準値について説明できる			◇
		□ 残気量(RV)の基準値について説明できる			◇
		□ 一回換気量(TV)の基準値について説明できる			◇
	□ II-13.1.3 閉塞性換気障害について理解している	□ 閉塞性換気障害について説明できる	R-33 マンガ呼 検査本 P144-P150		○
	□ II-13.1.4 拘束性換気障害について理解している	□ 拘束性換気障害について説明できる	R-33 マンガ呼 検査本 P144-P150		○
	□ II-13.1.5 混合性換気障害について理解している	□ 混合性換気障害について説明できる	検査本 P145		○
	□ II-13.1.6 各換気障害を呈する疾患について理解している	□ 閉塞性換気障害を呈する疾患を2つ挙げられる	R-33 マンガ呼 検査本 P144-P150		○
		□ 拘束性換気障害を呈する疾患を2つ挙げられる			○
		□ 混合性換気障害を呈する疾患を2つ挙げられる			○
	□ II-13.1.7 フローボリューム曲線について理解している	□ フローボリューム曲線について説明できる	R-33 マンガ呼		☆
		□ フローボリューム曲線の閉塞性換気障害パターンについて説明できる			☆
		□ フローボリューム曲線の拘束性換気障害パターンについて説明できる			☆
		□ フローボリューム曲線の上気道閉塞パターンについて説明できる			☆

大項目	中項目	小項目	リンク・備考	回答	レベル
	□II-13.1.8 姿勢の変化による パラメータの変化 について理解して いる	□姿勢の変化によるTLC,FRC,RVの変化につい て説明できる	R-33 マンガ呼		◇
		□離床によるFRCの変化とメリットを説明でき る			☆

大項目	中項目	小項目	確認印
／ 1	／ 8	／ 22	← 中項目の点 数は P102 に転記して 下さい